

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生命の科学（生物）	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 5 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	生命活動の基礎	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医学の基礎であるヒトの体の成り立ち、仕組み、はたらきを理解し「生化学」「生理学」の学習につなげていく	
教科書	医歯薬出版 生物学	
特記		
授業計画	1	生命の誕生、変遷
	2	生命をつくる物質
	3	細胞の一生と固体の成り立ち
	4	生殖によって子孫をつくる 遺伝と遺伝子
	5	発生して体をつくる 刺激の受容と反応①
	6	刺激の受容と反応② 内部環境を保つしくみ
	7	内臓の機能と免疫システム
	8	動物の行動と進化
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	化学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	化学の基本的な知識
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	化学の基本的な知識を理解し専門基礎の「生化学」「生理学」の学習につなげていく
教科書	医歯薬出版 化学
特記	
授業計画	1 原子 原子の配置 原子のイオン化 元素の周期表 2 化学結合・元素の性質 3 化学結合・物質量 4 結晶の種類 5 化学量 6 化学反応式 7 化学反応式と物質量 8 溶液・固体の溶解度 9 酸・塩基 10 金属のイオン化傾向 11 酸化・還元反応（電池） 12 物質の三態変化 13 命名法・異性体について 14 単糖・多糖・二糖類、アミノ酸 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	生活文化論 I																
実務家教員																	
学部・学科	歯科衛生学科																
履修年次	1 年次																
開講学期	前期																
科目区分	必修																
授業方法	講義及び演習																
授業時間	1 5 時間（1 単位）																
授業コマ数	8 コマ																
授業概要	社会学について理解し社会問題等について考える																
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る																
達成目標	基本的な社会学について理解し近年の社会問題等について考えることができるようにしていく																
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>ジェンダーとは TST</td></tr> <tr><td>2</td><td>ジェンダーという概念 性差観 MHFスケール</td></tr> <tr><td>3</td><td>性の多様性 ジェンダーアイデンティティ</td></tr> <tr><td>4</td><td>性別化得点算出 性の多様性（ジェンダーX）</td></tr> <tr><td>5</td><td>フェミニズム ジェンダーステレオタイプ ジェンダースキーマ</td></tr> <tr><td>6</td><td>BSRI</td></tr> <tr><td>7</td><td>社会化とジェンダー</td></tr> <tr><td>8</td><td>まとめ</td></tr> </table>	1	ジェンダーとは TST	2	ジェンダーという概念 性差観 MHFスケール	3	性の多様性 ジェンダーアイデンティティ	4	性別化得点算出 性の多様性（ジェンダーX）	5	フェミニズム ジェンダーステレオタイプ ジェンダースキーマ	6	BSRI	7	社会化とジェンダー	8	まとめ
1	ジェンダーとは TST																
2	ジェンダーという概念 性差観 MHFスケール																
3	性の多様性 ジェンダーアイデンティティ																
4	性別化得点算出 性の多様性（ジェンダーX）																
5	フェミニズム ジェンダーステレオタイプ ジェンダースキーマ																
6	BSRI																
7	社会化とジェンダー																
8	まとめ																
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生活文化論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	15時間（1単位）	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	基本的な社会学の考えから生命科学と医療倫理の基本的な問題点をとらえていけるようにする	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	クーリー・ミードの理論 セクシュアリティ
	2	自己（自我）について 自我と他者のコミュニケーション
	3	ポストモダンの考え方
	4	ポストモダンの発想と自己
	5	社会学の理念 社会学の全体構造ポストモダンと自己
	6	家族をめぐる社会学 夫婦・親子・核家族・脱近代家族 家族周期
	7	メディアと情報化をめぐる社会学 信頼
	8	ふりかえりテスト
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係論 I	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 5 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	心理検査の体験などを通じて自分自身を理解し見つめる	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	心理検査の体験などを通じて自分自身を理解し見つめていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	TST 私の人生設計 I
	2	人格と性格 性格類型論
	3	TAT
	4	防衛機制 P-Fスタディ
	5	ユング 向性指数
	6	心理的機能 パーソナリティ類型、心理学的タイプ論
	7	交流分析
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	人間関係論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 5 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	自分自身を理解しさらに患者さんの心理世界への理解	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	自分自身を理解しさらに患者さんの心理世界への理解へとつなげていく	
教科書	ミネルヴァ書房 よくわかる社会学	
特記		
授業計画	1	自己評価
	2	自我同一性
	3	自己表現 アニマ・アニムス
	4	マスローの自己表現 基本的対人態度測定インベントリー
	5	ホーナイ アサーティブチェックリスト 社会的スキル
	6	親子関係性 乳幼児期と母子関係 個体化理論 愛着理論
	7	ストレスとストレスコーピング
	8	ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	情報処理	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	1 5 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	P C の基本的な原理と操作方法、情報セキュリティー等	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	歯科医療に必要なPCの基本操作を学び、情報セキュリティーを理解し、守秘義務・個人情報の保護を遵守するための知識を得る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	Wordの画面について Lesson 1 文書の作成と管理
	2	Lesson 2 ビジネス文書の作成（問題演習あり）
	3	Lesson 3 レポートや報告書の作成 Lesson 4 表、図形、画像の基本
	4	問題演習
	5	Lesson 5 表の編集、ワードアート、図形の編集 表の編集、ワードアートの作成方法
	6	Lesson 5 表の編集、ワードアート、図形の編集 SmartArtの作成方法
	7	問題演習
	8	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	問題演習 単位認定試験（実技試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科英語	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	歯科診療に役立つ英語表現法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	英語の基礎を理解し歯科診療の様々な場面で役に立つ英語表現法を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科英語	
特記		
授業計画	1	Lesson 1
	2	Lesson 2
	3	Lesson 3
	4	Lesson 4
	5	Lesson 5
	6	Lesson 6
	7	Lesson 7
	8	Lesson 8
	9	Lesson 9
	10	Lesson 1 0 ①
	11	Lesson 1 0 ②
	12	Lesson 1 0 ③
	13	Lesson 1 0 ④
	14	まとめ
	15	ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	解剖・組織発生学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	人体の構造、組織に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の構造、組織に関する基本的知識について習得する	
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学	
特記		
授業計画	1	上皮組織
	2	支持・筋・神経
	3	神経総論 脳神経
	4	消化吸収 食道
	5	胃・小腸・大腸
	6	肝臓・膵臓
	7	呼吸①
	8	呼吸②（ふりかえりテスト）
	9	循環 血液
	10	心臓・胎児の循環系
	11	動脈系・静脈系・リンパ系
	12	排泄
	13	神経
	14	内分泌 生殖器
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	生理・口腔生理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	人体の機能、構成成分に関する基本的知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	人体の機能、構成成分に関する基本的知識について習得する 口腔の基本的な機能について習得する	
教科書	医歯薬出版 解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	
特記		
授業計画	1	歯の感覚・味覚①
	2	歯の感覚・味覚②
	3	筋・骨・神経①
	4	筋・骨・神経②
	5	反射①
	6	反射②
	7	筋の種類①
	8	筋の種類②
	9	消化吸収①
	10	消化吸収②
	11	循環①
	12	循環②
	13	呼吸
	14	排泄
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	口腔解剖学			
実務家教員				
学部・学科	歯科衛生学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期・後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	7 5 時間（5 単位）			
授業コマ数	3 8 コマ			
授業概要	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	歯、口腔の構造と周囲組織、機能組成に関する基本的知識について習得する			
教科書	医歯薬出版 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学			
特記				
授業計画	1	口腔解剖学 総論①	21	歯根膜 歯肉
	2	口腔解剖学 総論②	22	上顎 中切歯
	3	口腔付近の解剖学①	23	上顎 側切歯
	4	口腔付近の解剖学②	24	下顎 中切歯
	5	中切歯 側切歯	25	下顎 側切歯
	6	犬歯	26	上下顎 犬歯
	7	小臼歯	27	上顎 小臼歯
	8	第一大臼歯	28	下顎 小臼歯
	9	第二・第三大臼歯	29	上顎 第一大臼歯
	10	乳切歯 乳犬歯	30	下顎 第一大臼歯
	11	乳臼歯 永久歯との比較	31	上顎 第二大臼歯
	12	口腔顔面の骨	32	下顎 第二大臼歯
	13	口腔顔面の筋	33	上下顎 第三大臼歯
	14	口腔顔面の神経	34	前歯の形態異常
	15	口腔顔面の発生	35	臼歯の形態異常
	16	歯の発生	36	骨の異常
	17	歯の萌出	37	まとめ
	18	脱落交換	38	ふりかえりテスト
	19	エナメル質 象牙質		
	20	歯髄 セメント質		
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	生化学・栄養学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間（2 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	人体の栄養摂取の成り立ちと五大栄養素について学び「食事指導法」の学習へつなげていく 食事がどのように生命の維持につながるのかを学ぶ																														
教科書	医歯薬出版 栄養と代謝																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>生体構成成分</td></tr> <tr><td>2</td><td>糖質</td></tr> <tr><td>3</td><td>脂質 単純脂質</td></tr> <tr><td>4</td><td>脂質 複合脂質</td></tr> <tr><td>5</td><td>脂質 誘導脂質</td></tr> <tr><td>6</td><td>脂質 ステロール</td></tr> <tr><td>7</td><td>タンパク質</td></tr> <tr><td>8</td><td>核酸</td></tr> <tr><td>9</td><td>酵素</td></tr> <tr><td>10</td><td>ビタミン</td></tr> <tr><td>11</td><td>無機質</td></tr> <tr><td>12</td><td>ホルモン</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ（ふりかえりテスト）</td></tr> <tr><td>14</td><td>口腔生化学</td></tr> <tr><td>15</td><td>栄養 食事摂取基準 食生活と食品 食べ物と健康（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	生体構成成分	2	糖質	3	脂質 単純脂質	4	脂質 複合脂質	5	脂質 誘導脂質	6	脂質 ステロール	7	タンパク質	8	核酸	9	酵素	10	ビタミン	11	無機質	12	ホルモン	13	まとめ（ふりかえりテスト）	14	口腔生化学	15	栄養 食事摂取基準 食生活と食品 食べ物と健康（ふりかえりテスト）
1	生体構成成分																														
2	糖質																														
3	脂質 単純脂質																														
4	脂質 複合脂質																														
5	脂質 誘導脂質																														
6	脂質 ステロール																														
7	タンパク質																														
8	核酸																														
9	酵素																														
10	ビタミン																														
11	無機質																														
12	ホルモン																														
13	まとめ（ふりかえりテスト）																														
14	口腔生化学																														
15	栄養 食事摂取基準 食生活と食品 食べ物と健康（ふりかえりテスト）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病理学・口腔病理学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	病因と病態及び口腔領域の先天異常
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	病因と病態及び口腔領域の先天異常についての知識を習得する 口腔領域の様々な疾患の基礎を学び、臨床歯科医学の学習へつなげる
教科書	医歯薬出版 病理学・口腔病理学
特記	
授業計画	1 病理学序論と病因論 2 遺伝性疾患と奇形 3 循環障害 4 代謝障害と退行性病変 5 増殖と修復 6 炎症と免疫応答異常 腫瘍 7 歯の発育異常 8 歯の損傷と着色・付着物 9 う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態 10 歯周組織の病態 口腔粘膜の病変 11 口腔領域の嚢胞と腫瘍 口腔癌 12 顎骨の病変 唾液腺の病変 13 口腔領域の奇形 14 口腔組織の加齢変化 15 まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	微生物学・口腔微生物学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間（2 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	感染と免疫と生体との関連																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	感染と免疫と生体との関連についての基礎知識を習得する 「病理学」「薬理学」の知識と関連付け、臨床歯科医学の学習につなげていく																														
教科書	医歯薬出版 微生物学																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>1 章 疾病と微生物①</td></tr> <tr><td>2</td><td>1 章 疾病と微生物②</td></tr> <tr><td>3</td><td>2 章 微生物の病原性 総論①</td></tr> <tr><td>4</td><td>2 章 微生物の病原性 総論②</td></tr> <tr><td>5</td><td>2 章 微生物の病原性 各論</td></tr> <tr><td>6</td><td>2 章 微生物の病原性 細菌</td></tr> <tr><td>7</td><td>2 章 微生物の病原性 ウイルス</td></tr> <tr><td>8</td><td>まとめ（ふりかえりテスト）</td></tr> <tr><td>9</td><td>3 章 免疫機構 宿主防衛と免疫</td></tr> <tr><td>10</td><td>3 章 免疫機構 液性免疫</td></tr> <tr><td>11</td><td>3 章 免疫機構 細胞免疫</td></tr> <tr><td>12</td><td>4 章 口腔微生物</td></tr> <tr><td>13</td><td>5 章 口腔感染症</td></tr> <tr><td>14</td><td>6 章 化学療法</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	1 章 疾病と微生物①	2	1 章 疾病と微生物②	3	2 章 微生物の病原性 総論①	4	2 章 微生物の病原性 総論②	5	2 章 微生物の病原性 各論	6	2 章 微生物の病原性 細菌	7	2 章 微生物の病原性 ウイルス	8	まとめ（ふりかえりテスト）	9	3 章 免疫機構 宿主防衛と免疫	10	3 章 免疫機構 液性免疫	11	3 章 免疫機構 細胞免疫	12	4 章 口腔微生物	13	5 章 口腔感染症	14	6 章 化学療法	15	まとめ（ふりかえりテスト）
1	1 章 疾病と微生物①																														
2	1 章 疾病と微生物②																														
3	2 章 微生物の病原性 総論①																														
4	2 章 微生物の病原性 総論②																														
5	2 章 微生物の病原性 各論																														
6	2 章 微生物の病原性 細菌																														
7	2 章 微生物の病原性 ウイルス																														
8	まとめ（ふりかえりテスト）																														
9	3 章 免疫機構 宿主防衛と免疫																														
10	3 章 免疫機構 液性免疫																														
11	3 章 免疫機構 細胞免疫																														
12	4 章 口腔微生物																														
13	5 章 口腔感染症																														
14	6 章 化学療法																														
15	まとめ（ふりかえりテスト）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	薬理学・口腔薬理学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	薬物の知識及び薬物の生体への作用等	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	薬物についての基礎知識及び薬物が及ぼす生体への作用等の知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 薬理学	
特記		
授業計画	1	I 編 総論 薬物の作用 薬物動態 薬物の適用方法の種類と特徴 薬物の作用に影響を与える要因
	2	I 編 総論 薬物の副作用 有害作用 医薬品を適用する際の注意 薬物の取り扱い 薬物の法律・薬物と医薬品
	3	末梢神経系に作用する薬物
	4	末梢神経系に作用する薬物
	5	中枢神経系に作用する薬物
	6	中枢神経系に作用する薬物
	7	循環器系に作用する薬物
	8	循環器系に作用する薬物
	9	腎臓に作用する薬物
	10	呼吸器系、消化器系に作用する薬物
	11	血液に作用する薬物 免疫と薬
	12	悪性腫瘍と薬 代謝性疾患治療薬
	13	ビタミンとホルモン 炎症と薬 痛みと薬
	14	局所麻酔薬 抗感染症薬
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	衛生学・公衆衛生学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間（2 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	環境・社会と歯科口腔保健との関連性																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	環境・社会と歯科口腔保健との関連性について習得する 「歯科保健指導論」「口腔衛生学」「衛生行政・社会保障」の学習へとつな げていく																														
教科書	医歯薬出版 保健生態学 第3版																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>I 編 1 章 総論</td></tr> <tr><td>2</td><td>2 章 疫学</td></tr> <tr><td>3</td><td>3 章 人口</td></tr> <tr><td>4</td><td>4 章 健康と環境</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 章 感染症</td></tr> <tr><td>6</td><td>6 章 食品と健康</td></tr> <tr><td>7</td><td>III 編 1 章 地域保健・公衆衛生</td></tr> <tr><td>8</td><td>2 章 母子保健</td></tr> <tr><td>9</td><td>3 章 学校保健</td></tr> <tr><td>10</td><td>4 章 成人保険</td></tr> <tr><td>11</td><td>5 章 産業保健</td></tr> <tr><td>12</td><td>6 章 老人保健</td></tr> <tr><td>13</td><td>7 章 精神保健</td></tr> <tr><td>14</td><td>8 章 災害時の歯科保健</td></tr> <tr><td>15</td><td>9 章 国際保健（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	I 編 1 章 総論	2	2 章 疫学	3	3 章 人口	4	4 章 健康と環境	5	5 章 感染症	6	6 章 食品と健康	7	III 編 1 章 地域保健・公衆衛生	8	2 章 母子保健	9	3 章 学校保健	10	4 章 成人保険	11	5 章 産業保健	12	6 章 老人保健	13	7 章 精神保健	14	8 章 災害時の歯科保健	15	9 章 国際保健（ふりかえりテスト）
1	I 編 1 章 総論																														
2	2 章 疫学																														
3	3 章 人口																														
4	4 章 健康と環境																														
5	5 章 感染症																														
6	6 章 食品と健康																														
7	III 編 1 章 地域保健・公衆衛生																														
8	2 章 母子保健																														
9	3 章 学校保健																														
10	4 章 成人保険																														
11	5 章 産業保健																														
12	6 章 老人保健																														
13	7 章 精神保健																														
14	8 章 災害時の歯科保健																														
15	9 章 国際保健（ふりかえりテスト）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	口腔衛生学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	歯と口腔の疾病異常の予防と健康増進についての知識を習得する 臨床歯科医学の学習へとつなげていく
教科書	医歯薬出版 歯科保健生態学 第3版
特記	
授業計画	1 歯・歯列弓 歯の萌出時期 歯の種類と機能（ふりかえりテスト） 2 咬合（永久歯・乳歯） 歯の組織 歯の硬組織の成分 歯の形成及びその順序 3 歯周組織 歯肉・粘膜の構造 舌の構造 4 唾液腺と唾液 口腔の運動と咀嚼・嚥下 開口・閉口の筋運動 5 歯・口腔の付着物（ペリクル・歯垢） 6 歯・口腔の付着物（歯垢・歯石） 7 口腔清掃 8 う蝕予防 9 う蝕病因論（keyseの病因論、Stephan curve） 10 う蝕活動性試験 11 予防の3相5段階 12 フッ素の性状 フッ素の中毒 フッ素の全身応用 フッ素の局所応用 13 フッ化物配合歯磨剤 14 まとめ 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	地域歯科保健・歯科保健統計																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	30時間（2単位）																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動																														
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																														
達成目標	疫学と歯科保健統計及び地域歯科保健活動に関する基本的知識について習得する 「衛生学・公衆衛生学」の知識と関連付け、「歯科保健指導論」「衛生行政・社会保障」の学習へとつなげていく																														
教科書	医歯薬出版 保健情報統計学																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>除去と分数、比と率</td></tr> <tr><td>2</td><td>百分率と代表値</td></tr> <tr><td>3</td><td>指標と指数 う蝕経験</td></tr> <tr><td>4</td><td>DMF、DMFT</td></tr> <tr><td>5</td><td>歯周疾患の指数 総論</td></tr> <tr><td>6</td><td>歯周疾患の指数 PMA GI PI PDI</td></tr> <tr><td>7</td><td>歯周疾患の指数 G b c o u n t CPI</td></tr> <tr><td>8</td><td>歯・口腔清掃の指数 OHI OHI-S PII PHP PCR</td></tr> <tr><td>9</td><td>歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション</td></tr> <tr><td>10</td><td>有病と罹患（抑制率） 疫学論</td></tr> <tr><td>11</td><td>ミニテスト</td></tr> <tr><td>12</td><td>ミニテスト</td></tr> <tr><td>13</td><td>ミニテスト</td></tr> <tr><td>14</td><td>ミニテスト</td></tr> <tr><td>15</td><td>ふりかえりテスト</td></tr> </table>	1	除去と分数、比と率	2	百分率と代表値	3	指標と指数 う蝕経験	4	DMF、DMFT	5	歯周疾患の指数 総論	6	歯周疾患の指数 PMA GI PI PDI	7	歯周疾患の指数 G b c o u n t CPI	8	歯・口腔清掃の指数 OHI OHI-S PII PHP PCR	9	歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション	10	有病と罹患（抑制率） 疫学論	11	ミニテスト	12	ミニテスト	13	ミニテスト	14	ミニテスト	15	ふりかえりテスト
1	除去と分数、比と率																														
2	百分率と代表値																														
3	指標と指数 う蝕経験																														
4	DMF、DMFT																														
5	歯周疾患の指数 総論																														
6	歯周疾患の指数 PMA GI PI PDI																														
7	歯周疾患の指数 G b c o u n t CPI																														
8	歯・口腔清掃の指数 OHI OHI-S PII PHP PCR																														
9	歯・口腔清掃の指数 CPIとフロリデーション																														
10	有病と罹患（抑制率） 疫学論																														
11	ミニテスト																														
12	ミニテスト																														
13	ミニテスト																														
14	ミニテスト																														
15	ふりかえりテスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	衛生行政・社会保障	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	3 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	関連法規と制度	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯科衛生士として必要となる関連法規と制度についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士と法律・制度 第3版	
特記		
授業計画	1	総論
	2	国家試験の傾向
	3	歯科衛生士法①
	4	欠格事由について
	5	歯科医師法
	6	歯科技工士法
	7	歯科衛生士法② 保健師助産師看護師法との比較
	8	医療の動向
	9	社会保障
	10	社会保障 医療保険
	11	社会保障 労災保険
	12	社会保障 介護保険
	13	保健に関連する法規
	14	社会保険・社会保障の用語
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	社会・地域福祉論																
実務家教員																	
学部・学科	歯科衛生学科																
履修年次	3 年次																
開講学期	前期																
科目区分	必修																
授業方法	講義																
授業時間	1 5 時間（1 単位）																
授業コマ数	8 コマ																
授業概要	保健・医療・福祉とそれを取り巻く環境																
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る																
達成目標	社会における保健・医療・福祉とそれを取り巻く環境についての知識を習得する																
教科書	ミネルヴァ書房 新版よくわかる地域福祉																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>地域福祉とは 地域福祉の主体と対象</td></tr> <tr><td>2</td><td>地域の理念</td></tr> <tr><td>3</td><td>地域福祉の発展</td></tr> <tr><td>4</td><td>地域福祉の政策展開</td></tr> <tr><td>5</td><td>地域福祉の推進方法</td></tr> <tr><td>6</td><td>地域福祉の推進主体</td></tr> <tr><td>7</td><td>子どもと地域福祉</td></tr> <tr><td>8</td><td>災害と地域福祉 地域福祉計画とその実際・評価手法（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	地域福祉とは 地域福祉の主体と対象	2	地域の理念	3	地域福祉の発展	4	地域福祉の政策展開	5	地域福祉の推進方法	6	地域福祉の推進主体	7	子どもと地域福祉	8	災害と地域福祉 地域福祉計画とその実際・評価手法（ふりかえりテスト）
1	地域福祉とは 地域福祉の主体と対象																
2	地域の理念																
3	地域福祉の発展																
4	地域福祉の政策展開																
5	地域福祉の推進方法																
6	地域福祉の推進主体																
7	子どもと地域福祉																
8	災害と地域福祉 地域福祉計画とその実際・評価手法（ふりかえりテスト）																
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科衛生士概論
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	歯科衛生士業務、医療倫理、医療安全管理、チーム医療
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	歯科衛生士業務を実践するために必要な考え方、医療倫理、医療安全管理及びチーム医療についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学総論
特記	
授業計画	1 歯科衛生学とは 歯科衛生と健康 2 歯科衛生学とは 歯科衛生活動 3 歯科衛生の歴史 誕生と経緯 4 歯科衛生の歴史 役割と展望 5 歯科衛生活動のための理論 予防の概念 6 歯科衛生活動のための理論 歯科衛生の考え方 科学的思考 7 歯科衛生過程とは 8 歯科衛生過程の流れ 9 歯科衛生士法と歯科衛生衛生業務 10 関連法規 11 歯科衛生士と医療倫理 12 対象の自己決定権の尊重 インフォームド・コンセント 13 歯科衛生士の活動と組織 歯科衛生活動の現況 14 歯科衛生士と組織 15 まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト、提出物、出席率 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	歯科保存学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンス																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	歯の硬組織疾患の種類と原因とその治療法についての知識を習得する																														
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>歯の保存療法の種類</td></tr> <tr><td>2</td><td>口腔検査</td></tr> <tr><td>3</td><td>保存修復の概論</td></tr> <tr><td>4</td><td>保存修復の概論</td></tr> <tr><td>5</td><td>保存修復の概論</td></tr> <tr><td>6</td><td>保存修復の概論</td></tr> <tr><td>7</td><td>直接法修復</td></tr> <tr><td>8</td><td>直接法修復</td></tr> <tr><td>9</td><td>間接法修復</td></tr> <tr><td>10</td><td>間接法修復</td></tr> <tr><td>11</td><td>保存修復における歯科衛生士の役割</td></tr> <tr><td>12</td><td>保存修復における歯科衛生士の役割</td></tr> <tr><td>13</td><td>実習 マトリックスバンド装着 セメント充填</td></tr> <tr><td>14</td><td>実習 セメント充填 レジン充填</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	歯の保存療法の種類	2	口腔検査	3	保存修復の概論	4	保存修復の概論	5	保存修復の概論	6	保存修復の概論	7	直接法修復	8	直接法修復	9	間接法修復	10	間接法修復	11	保存修復における歯科衛生士の役割	12	保存修復における歯科衛生士の役割	13	実習 マトリックスバンド装着 セメント充填	14	実習 セメント充填 レジン充填	15	まとめ（ふりかえりテスト）
1	歯の保存療法の種類																														
2	口腔検査																														
3	保存修復の概論																														
4	保存修復の概論																														
5	保存修復の概論																														
6	保存修復の概論																														
7	直接法修復																														
8	直接法修復																														
9	間接法修復																														
10	間接法修復																														
11	保存修復における歯科衛生士の役割																														
12	保存修復における歯科衛生士の役割																														
13	実習 マトリックスバンド装着 セメント充填																														
14	実習 セメント充填 レジン充填																														
15	まとめ（ふりかえりテスト）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯内治療学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	歯、歯髄の疾患と原因とその治療法についての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 保存修復・歯内療法	
特記		
授業計画	1	歯内療法の概論
	2	歯内療法の概論
	3	歯髄保存療法
	4	歯髄保存療法
	5	歯髄の除去療法
	6	歯髄の除去療法
	7	根管治療 根管充填
	8	実習 根管治療 根管充填
	9	外科的歯内療法
	10	外科的歯内療法
	11	歯の外傷
	12	歯の外傷
	13	歯内療法における安全対策
	14	歯内療法における歯科衛生士の役割
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	歯周療法学																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンス																														
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																														
達成目標	歯周組織の疾患とその原因、治療法及びメンテナンスについての知識を習得する																														
教科書	医歯薬出版 歯周病学																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>正常な歯周組織の構造と機能</td></tr> <tr><td>2</td><td>歯周病の種類と原因 1</td></tr> <tr><td>3</td><td>歯周病の種類と原因 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>歯周病の種類と原因 3</td></tr> <tr><td>5</td><td>正常な歯肉歯周病の分類まとめ 歯周病の原因まとめ</td></tr> <tr><td>6</td><td>歯周治療の進め方 1</td></tr> <tr><td>7</td><td>歯周治療の進め方 2</td></tr> <tr><td>8</td><td>歯周治療の進め方 3</td></tr> <tr><td>9</td><td>歯周検査 1</td></tr> <tr><td>10</td><td>歯周検査 2</td></tr> <tr><td>11</td><td>歯周検査 3</td></tr> <tr><td>12</td><td>歯周基本治療</td></tr> <tr><td>13</td><td>歯周外科</td></tr> <tr><td>14</td><td>メンテナンス</td></tr> <tr><td>15</td><td>スケーリング、SRP、シャープニング（ふりかえりテスト）</td></tr> </table>	1	正常な歯周組織の構造と機能	2	歯周病の種類と原因 1	3	歯周病の種類と原因 2	4	歯周病の種類と原因 3	5	正常な歯肉歯周病の分類まとめ 歯周病の原因まとめ	6	歯周治療の進め方 1	7	歯周治療の進め方 2	8	歯周治療の進め方 3	9	歯周検査 1	10	歯周検査 2	11	歯周検査 3	12	歯周基本治療	13	歯周外科	14	メンテナンス	15	スケーリング、SRP、シャープニング（ふりかえりテスト）
1	正常な歯周組織の構造と機能																														
2	歯周病の種類と原因 1																														
3	歯周病の種類と原因 2																														
4	歯周病の種類と原因 3																														
5	正常な歯肉歯周病の分類まとめ 歯周病の原因まとめ																														
6	歯周治療の進め方 1																														
7	歯周治療の進め方 2																														
8	歯周治療の進め方 3																														
9	歯周検査 1																														
10	歯周検査 2																														
11	歯周検査 3																														
12	歯周基本治療																														
13	歯周外科																														
14	メンテナンス																														
15	スケーリング、SRP、シャープニング（ふりかえりテスト）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科補綴学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンス	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	歯の欠損の原因と治療法及びそのメンテナンスについての知識を習得する	
教科書	医歯薬出版 歯科補綴	
特記		
授業計画	1	I 編 1 章
	2	I 編 2 章
	3	I 編 3 章
	4	I 編 4 章
	5	Ⅱ編 1 章
	6	Ⅱ編 2 章
	7	Ⅱ編 3 章
	8	Ⅱ編 4 章
	9	Ⅱ編 5 章
	10	Ⅱ編 6 章
	11	I 編 まとめ Ⅱ編 まとめ
	12	Ⅲ編 1 章
	13	Ⅲ編 2 章
	14	Ⅲ編 3 章
	15	Ⅲ編 4 章（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	発達歯科学（小児歯科学）
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	小児についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	小児についての理解と関連する疾病、疾患及びその治療法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 小児歯科
特記	
授業計画	1 小児歯科の基礎知識 概論 2 顔面頭蓋の発育 心身の発育 歯の発育とその異常 小児の生理的特徴 3 歯列・咬合の発育と異常 4 小児の歯科疾患 5 小児期の特徴と歯科的問題点① 6 小児歯科診療について 7 小児期の特徴と歯科的問題点② 8 患者との対応法 9 診療体系 障害児の歯科診療 10 小児歯科における歯科衛生士の役割 診療・検査時の業務 11 う蝕予防 診療補助 12 小児の口腔保健管理① 13 小児の口腔保健管理② 14 国家試験演習 15 まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	口腔外科学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	顎、口腔領域の疾患についてとその治療法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 口腔外科・歯科麻酔
特記	
授業計画	1 口腔外科の概要 2 顎口腔領域の先天異常 3 転位歯 4 外傷と疾患 5 顎関節病変 6 口腔粘膜の病変 7 赤血球系の疾患 8 顎骨の炎症 9 腫瘍の分類と代表的な腫瘍 10 エナメル上皮腫 11 口腔外科診療の実際 1 12 口腔外科診療の実際 2 13 救急蘇生法 14 まとめ 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科矯正学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	顎、顔面の成長及び不正咬合の理解とその治療法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科矯正 医歯薬出版 小児歯科
特記	
授業計画	1 矯正歯科治療の概要 2 成長発育 3 正常咬合 4 不正咬合 5 診断学① 6 診断学② 7 矯正歯科治療と「力」① 8 矯正歯科治療と「力」② 9 矯正装置① 10 矯正装置② 11 矯正歯科治療の実際① 顎の前後的關係の不調和 12 矯正歯科治療の実際② 顎の垂直的關係の不調和 成人矯正 形成異常と変形 13 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 14 矯正歯科患者と口腔保健管理 口腔機能療法 15 器材・資料・文書の管理（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	高齢者・障害者口腔保健学
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	高齢者・障害者の理解と関連する疾患とその治療法及びリハビリテーション
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	高齢者・障害者の理解と関連する疾患とその治療およびリハビリテーションについての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 高齢者歯科 障害者歯科
特記	
授業計画	1 高齢者をとりまく社会と環境 2 加齢による身体的・精神的変化と疾患 3 高齢者の状態の把握 4 口腔ケア 5 摂食嚥下リハビリテーション 6 高齢者に関わる医療と介護 7 高齢者における歯科衛生過程 8 高齢者歯科まとめ（ふりかえりテスト） 9 障害者歯科とは 10 障害者歯科に関わる法律 11 障害の特徴と歯科的対応 12 障害の種類と歯科的特徴 13 障害者と薬剤 14 障害の種類と特徴 15 摂食嚥下障害（ふりかえりテスト）
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	歯科予防処置論 I			
実務家教員				
学部・学科	歯科衛生学科			
履修年次	1 年次			
開講学期	前期・後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義 実習			
授業時間	9 0 時間（3 単位）			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	歯科予防処置の概念と基本的な知識			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	歯科予防処置の概念と基本的な知識を習得する 歯石除去の基本操作と使用器具についての知識を習得する			
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論			
特記				
授業計画	1	歯科予防処置論の概要 定義・法的な位置づけ	26	シックルスケーラー マネキン実技試験
	2	歯科予防処置論の概要 予防の概念	27	相互実習オリエンテーション
	3	口腔の基礎知識 正常な口腔 歯周組織	28	軟組織損傷、薬物、目に汚物が入ったときの予防と対応
	4	口腔の基礎知識 歯冠と歯根の形態	29	口腔内観察 相互実習
	5	歯周病の基礎知識 口腔内の付着物・沈着物	30	口腔内観察 相互実習
	6	歯周病の基礎知識 歯周病	31	上顎前歯部 エキスプローラー操作
	7	口腔内の情報収集 口腔内の観察	32	下顎前歯部 エキスプローラー操作
	8	口腔内の情報収集 検査	33	プローブの基礎知識
	9	歯科衛生介入のための歯科予防処置 スケーリング	34	プローピング 相互実習
	10	手用スケーラーの知識	35	口腔内観察 相互実習
	11	マネキンの取り扱い	36	シックルスケーリング 相互実習
	12	ポジショニング	37	キュレットスケーラーの基礎知識
	13	上顎前歯部唇側面マネキン実習	38	キュレットスケーラーの基本操作
	14	下顎前歯部唇側面マネキン実習	39	上下前歯部 マネキン実習
	15	上顎前歯部口蓋側面マネキン実習	40	上顎右側臼歯部 マネキン実習
	16	下顎前歯部舌側面マネキン実習	41	上顎左側臼歯部 マネキン実習
	17	上下顎右側臼歯部 中央部 マネキン実習	42	下顎右側臼歯部 マネキン実習
	18	上下顎左側臼歯部 中央部 マネキン実習	43	下顎左側臼歯部 マネキン実習
	19	上顎前歯部 人工歯石マネキン実習	44	キュレットスケーラーのシャープニング
	20	下顎前歯部 人工歯石マネキン実習	45	キュレットスケーラーのシャープニング
	21	シャープニングの基礎知識		
	22	シックルスケーラーのシャープニング		
	23	シックルスケーラーのシャープニング		
	24	マネキン復習		
	25	シックルスケーラー マネキン実技試験		
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト、提出物、出席率 単位認定試験（筆記試験）			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科予防処置論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	歯・口腔の健康状態を把握、歯周組織検査、予防処置使用器具の基本的操作法
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	歯・口腔の健康状態を把握し歯周組織検査、予防処置使用器具の基本操作法を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論
特記	
授業計画	1 歯面研磨についての基礎知識 2 洗浄・貼薬についての基礎知識 3 歯面研磨 マネキン実習 4 歯面研磨 相互実習 5 下顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習 6 下顎左側臼歯部 舌側 マネキン実習 7 下顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習 8 下顎右側臼歯部 舌側 マネキン実習 9 上顎右側臼歯部 頬側 マネキン実習 10 上顎左側臼歯部 口蓋側 マネキン実習 11 上顎左側臼歯部 頬側 マネキン実習 12 上顎右側臼歯部 口蓋側 マネキン実習 13 キュレットスケーラーのシャープニング 14 キュレットスケーラー 相互実習 15 キュレットスケーラー 相互実習 16 キュレットスケーラー 相互実習 17 キュレットスケーラー 相互実習 18 超音波スケーラーの基礎知識 19 エアースケーラーの基礎知識 20 超音波スケーラー 相互実習 21 エアースケーラー 相互実習 22 歯面清掃器についての基礎知識 23 歯面清掃器 マネキン実習 24 歯面清掃器 相互実習 25 歯面清掃器 相互実習 26 PMTCについての基礎知識 27 PMTCについてのマネキン実習 28 PMTC 相互実習 29 臨床実習とは 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	歯科予防処置論Ⅲ																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	3年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義 実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作する																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	対象者別の予防処置の計画を立案・実行、操作することができるようになる																														
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>マネキン実習</td></tr> <tr><td>2</td><td>マネキン実習</td></tr> <tr><td>3</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>4</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>5</td><td>手用スケーラーのシャープニング</td></tr> <tr><td>6</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>7</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>8</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>9</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>10</td><td>手用スケーラーのシャープニング</td></tr> <tr><td>11</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>12</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>13</td><td>スケーリング 相互実習</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </table>	1	マネキン実習	2	マネキン実習	3	スケーリング 相互実習	4	スケーリング 相互実習	5	手用スケーラーのシャープニング	6	スケーリング 相互実習	7	スケーリング 相互実習	8	スケーリング 相互実習	9	スケーリング 相互実習	10	手用スケーラーのシャープニング	11	スケーリング 相互実習	12	スケーリング 相互実習	13	スケーリング 相互実習	14	まとめ	15	まとめ
1	マネキン実習																														
2	マネキン実習																														
3	スケーリング 相互実習																														
4	スケーリング 相互実習																														
5	手用スケーラーのシャープニング																														
6	スケーリング 相互実習																														
7	スケーリング 相互実習																														
8	スケーリング 相互実習																														
9	スケーリング 相互実習																														
10	手用スケーラーのシャープニング																														
11	スケーリング 相互実習																														
12	スケーリング 相互実習																														
13	スケーリング 相互実習																														
14	まとめ																														
15	まとめ																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	う蝕予防処置
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	う蝕の基礎知識と予防法について学びその技術を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法
特記	
授業計画	1 齲蝕予防処置法とは 齲蝕の疫学 齲蝕予防処置法における歯科衛生士の役割 齲蝕予防処置法実習にあたっての注意 2 齲蝕発生メカニズム 初期う蝕と再石灰 3 齲蝕活動性試験の知識 4 齲蝕活動性試験の実習 ＊カリオスタット ＊RDテスト 5 フッ化物によるう蝕予防機序 フッ素の代謝 フッ素の中毒 6 フッ化物応用によるう蝕予防方法 ライフステージに応じたフッ化物応用 7 齲蝕予防措置法を実施するための注意事項 8 フッ化物局所応用法 9 フッ化物溶液局所塗布法のアウトライン う蝕予防効果について予防率の求め方 10 フッ化物溶液の味の確認 綿球中のフッ素量 イオントレイに含まれる溶液量 11 フッ化物塗布の相互実習（綿球法） 12 フッ化物塗布の相互実習（スポンジトレイ法） 13 鍍銀法：フッ化ジアンミン銀の応用 14 小窩裂溝填塞法 15 フッ化ジアンミン銀の抜去歯牙への塗布実習 16 フッ化ジアンミン銀の手指および布への着色 脱色実習 17 フッ化ジアンミン銀塗布相互実習 18 マネキンでの小窩裂溝填塞実習 19 小窩裂溝填塞法の相互実習 20 齲蝕予防処置の一般的な注意 21 齲蝕予防処置集団応用と公衆歯科衛生活動における現場活動 22 集団応用に用いられる齲蝕予防処置法 23 集団応用実施の器材・薬剤の準備 24 フッ化物洗口法 25 実習にあたっての予備知識 26 机上実習とロールプレイング 27 集団応用実施例 28 まとめ 29 まとめ 30 まとめテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科保健指導論 I
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	健康と疾病の概念、健康増進・維持の知識・技術
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	健康と疾病の概念の理解と口腔の健康増進・維持のための知識・技術を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版
特記	
授業計画	1 保健指導論の概要 2 刷掃法の基本 3 毛先を使ったブラッシング法① 4 毛先を使ったブラッシング法② 5 わき腹を使ったブラッシング法① 6 わき腹を使ったブラッシング法② 7 電動歯ブラシ 8 歯磨剤の知識 9 洗口剤の基礎知識 10 デンタルフロス 基礎知識 11 デンタルフロス 使い方 12 その他の清掃補助用具 基礎知識 13 その他の清掃補助用具 使い方 14 口腔清掃まとめ① 口腔清掃まとめ② 15 ふりかえりテスト 16 口腔清掃実習① 口腔清掃実習② 17 歯垢染色 18 P C R 19 データ分析の実習 染色① 染色② 20 データ分析の実習 P C R① P C R② 21 保健指導論に関する基礎知識 総論 22 保健指導論に関する基礎知識 摂食嚥下の過程 23 歯科衛生過程の概要① 24 歯科衛生過程の概要② 25 情報収集 26 医療面接 27 分析のためのデータ O H I 28 分析のためのデータ O H I - S 29 総まとめ 30 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科保健指導論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンス
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	対象別（ライフステージ別）の口腔衛生指導・メンテナンスについての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版
特記	
授業計画	2年の授業の概要説明 1年時の復習 - 指数 プラーク・歯石の指数① - 指数 プラーク・歯石の指数② - 歯周疾患の指数① - 歯周疾患の指数② - その他の指数 - 指数 まとめ - ライフステージにおける歯科衛生介入とは - 妊産婦期 - 新生児期・乳幼児期 - 幼児期 - 学齢期 - 青年期 - 成人期 - 老年期 - 要介護高齢者 - 障害者 - まとめ - 口腔観察実習 - 保健指導実習 - 行動変容理論 総論 - 行動変容理論 - 行動変容理論 禁煙指導 - SOAP式記録 - SOAP式記録実践 - 歯科衛生過程演習①（グループワーク） - 歯科衛生過程演習②（グループワーク） - まとめ - ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	歯科保健指導論Ⅲ																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	3年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修																														
授業方法	講義 実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	集団保健指導																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	集団保健指導を行うにあたっての計画立案・準備・実施の課程を習得する																														
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>小集団指導法</td></tr> <tr><td>2</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>3</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>6</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>7</td><td>小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>媒体講話作成・発表</td></tr> <tr><td>9</td><td>媒体講話作成・発表</td></tr> <tr><td>10</td><td>媒体講話作成・発表</td></tr> <tr><td>11</td><td>媒体講話作成・発表</td></tr> <tr><td>12</td><td>媒体講話作成・発表</td></tr> <tr><td>13</td><td>ロールプレイング</td></tr> <tr><td>14</td><td>ロールプレイング</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </table>	1	小集団指導法	2	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	3	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	4	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	5	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	6	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	7	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成	8	媒体講話作成・発表	9	媒体講話作成・発表	10	媒体講話作成・発表	11	媒体講話作成・発表	12	媒体講話作成・発表	13	ロールプレイング	14	ロールプレイング	15	まとめ
1	小集団指導法																														
2	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
3	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
4	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
5	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
6	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
7	小学校・幼稚園 媒体作成 媒体講話作成																														
8	媒体講話作成・発表																														
9	媒体講話作成・発表																														
10	媒体講話作成・発表																														
11	媒体講話作成・発表																														
12	媒体講話作成・発表																														
13	ロールプレイング																														
14	ロールプレイング																														
15	まとめ																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	食事指導法
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	対象者別に食生活指導を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	口腔保健と生活習慣の関連についてと栄養について理解し対象者別に食生活指導を行うための知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 栄養と代謝 医歯薬出版 日本食品成分表2020
特記	
授業計画	1 食をとりまく環境 国民健康栄養調査 2 現在の食の問題点 肥満・脂肪摂取量 3 現在の食の問題点 食塩・野菜・カルシウム 食事バランスガイド 4 食育基本法 食生活指針 5 五大栄養素 糖質・脂質・タンパク質 6 五大栄養素 ビタミン・ミネラル 7 バランスの良い食事献立作成 8 食生活のマネジメント 9 食事記録→食事指導 保健機能食品 10 喫煙指導 シュガーコントロール 11 ライフステージ 妊産婦期 12 新生児期・乳児期 幼児期 13 学齢期 青年期 14 成人期 老年期 15 要介護高齢者 障害者
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	口腔リハビリテーション論
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	口腔機能管理の意義と目的、リハビリテーションについての知識
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	口腔機能管理の意義と目的を知り全身疾患との関連の理解とリハビリテーションについての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版
特記	
授業計画	1 総論① 2 総論② 3 摂食嚥下のメカニズム① 4 摂食嚥下のメカニズム② 5 小児 6 障害及びケアプロセス① 7 障害及びケアプロセス② 8 検査 9 間接訓練 10 間接訓練 11 直接訓練 12 直接訓練 13 臨床での応用 14 国家試験演習 15 まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科診療補助論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ
授業概要	歯科診療補助の基礎、基本的な技術
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	歯科診療における診療補助の基礎、基本的な技術を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版
特記	
授業計画	1 歯科診療補助の概要と意義 2 歯科衛生士法における法的位置づけ 3 診療補助と診療解除の違い 4 歯科診療補助の流れ 5 医療安全とは 6 歯科医療における感染症の概念 7 感染症と感染予防策 8 標準予防策 9 医療従事者としての対応 10 診療室・診療機器の感染予防 11 手指消毒と分類・基本的手法 12 手指消毒と分類・基本的手法実習 13 グローブの付け方外し方 14 グローブの付け方外し方実習 15 滅菌消毒洗浄の定義 16 滅菌法・滅菌のモニタリング 17 滅菌・消毒の準備実習 18 滅菌・洗浄の実習 19 滅菌時の注意 偶発時の対応 20 廃棄物の概要 21 歯科診療室で発生する廃棄物 22 歯科診療室の環境 23 薬品・材料の管理 24 共同作業の概念 25 共同作業の方法実習 26 ポジショニング・ライティング 27 患者誘導 28 ポジショニング・ライティング実習 29 衛生材料 30 まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科診療補助論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	臨床に対応し得る歯科診療補助技術を習得する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	歯科診療補助、介助について臨床に対応し得る技術を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版
特記	
授業計画	1 衛生材料実習 綿球 ロールワッテ カット綿 小折ガーゼ作成 2 衛生材料実習 綿球 ロールワッテ カット綿 小折ガーゼ作成 3 口腔内洗浄・バキューム 4 口腔内洗浄・バキューム実習 5 歯の切削時におけるバキューム実習 6 歯科材料の基礎知識 7 印象材の分類 8 印象材の取り扱い 9 アルジネート印象材実習 10 連合印象実習 11 合成ゴム質印象材・その他の印象材 12 模型用材料 13 石膏模型作成実習 14 合着材・印象材の基礎知識 15 合着材実習 接着性レジンセメント実習
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	歯科診療補助論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	3年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	臨床での対応応力を習得の計画立案・準備・実施
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的技術の反復習熟を行い臨床での対応力を習得する
教科書	医歯薬出版 歯科診療補助論 第2版
特記	
授業計画	1 保存修復器材のセッティング コンポジットレジン 2 インレー修復 3 保存修復器材のセッティング実習 4 根管治療 根冠充填 5 根冠治療のセッティング実習 根冠充填のセッティング実習 6 歯周治療 7 小児歯科・矯正歯科治療用器材 8 歯周治療のセッティング実習 小児歯科治療・矯正歯科治療用器材のセッティング実習 9 補綴用器材 義歯適合試験材 10 補綴器材のセッティング実習 11 口腔内写真撮影 口腔内写真撮影実習 12 全身疾患・在宅訪問時の歯科診療補助 13 歯科衛生士の業務記録 14 医療保険 15 まとめ（まとめテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	感染予防法
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療安全管理について理解し感染対策の定義・方法についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 新・歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄
特記	
授業計画	1 感染予防対策の基本 1 2 感染予防対策の基本 2 3 歯科診療における感染予防対策の実際 1 4 歯科診療における感染予防対策の実際 2 5 総論の復習 6 滅菌・消毒・洗浄の基本 1 7 滅菌・消毒・洗浄の基本 2 8 滅菌の基本 9 消毒の基本 10 洗浄の基本 11 消毒・洗浄の基本と実際 12 医療従事者の感染予防対策 13 感染性廃棄物の処理 14 まとめ 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	臨床検査法
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	臨床検査の目的・倫理、検査の種類と検査値の評価
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般臨床検査の目的・倫理と安全について理解し検査の種類と検査値の評価についての知識を習得する
教科書	医歯薬出版 臨床検査
特記	
授業計画	1 臨床検査とは 検体の種類 2 検査の種類 3 検査成績の読み方 基準値・変動要因 4 生体検査 5 脈拍と血圧 6 心機能 7 肺機能・筋電図・脳波・血中酸素濃度 8 検体検査① 9 検体検査② 10 検体検査③ 11 病態別検査値のとらえ方 1 12 病態別検査値のとらえ方 2 13 病態別検査値のとらえ方 3 14 まとめ 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急法・救急蘇生法
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	講義 実習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	救急救命処置について習得
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	全身管理とモニタリングバイタルサインについて理解し、救急救命処置について習得する
教科書	オリジナルテキスト 配布プリント・資料
特記	
	1 救急蘇生法総論 2 一次救命処置 3 B L S 4 循環器について 5 小児 B L S 6 ショック 7 バイタルサイン 1 8 バイタルサイン 2 9 バイタルサイン 3 10 一次救命処置実習 11 一次救命処置実習 12 バイタルサイン実習 13 実技試験 14 まとめ 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	歯科放射線学	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	放射線の知識、使用器具、撮影法、写真処置と画像管理	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	放射線についての理解、使用器具、撮影法、写真処置と画面管理について習得する X線撮影時の歯科衛生士の役割を学ぶ	
教科書	医歯薬出版 歯科放射線	
特記		
授業計画	1	放射線総論①
	2	放射線総論②
	3	X線の発生
	4	X線の性質
	5	X線写真の幾何学的要因①
	6	X線写真の幾何学的要因②
	7	撮影法 口内法
	8	撮影法 口外法
	9	感光材料①
	10	感光材料②
	11	放射線障害
	12	放射線防護
	13	撮影実習 デンタル
	14	撮影実習 パノラマ
	15	まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	臨地実習 I			
実務家教員	○			
学部・学科	歯科衛生学科			
履修年次	2 年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	4 0 5 時間（9 単位）			
授業コマ数	5 1 コマ（1 コマ 8 時間）			
授業概要	歯科診療の現場を知り歯科治療の実際と歯科衛生士業務の実際を知る			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	実践的な知識と技術を習得する			
教科書	特に使用はしない			
特記	歯科医師である教員が、大学での臨床教授および運営される歯科医院での実務経験生かし、当該教員の監修の基、臨床経験で必要な歯科医療現場における応用技術と応用知識等の教授を行う			
授業計画	1	臨地実習	27	臨地実習
	2	臨地実習	28	臨地実習
	3	臨地実習	29	臨地実習
	4	臨地実習	30	臨地実習
	5	臨地実習	31	臨地実習
	6	臨地実習	32	臨地実習
	7	臨地実習	33	臨地実習
	8	臨地実習	34	臨地実習
	9	臨地実習	35	臨地実習
	10	臨地実習	36	臨地実習
	11	臨地実習	37	臨地実習
	12	臨地実習	38	臨地実習
	13	臨地実習	39	臨地実習
	14	臨地実習	40	臨地実習
	15	臨地実習	41	臨地実習
	16	臨地実習	42	臨地実習
	17	臨地実習	43	臨地実習
	18	臨地実習	44	臨地実習
	19	臨地実習	45	臨地実習
	20	臨地実習	46	臨地実習
	21	臨地実習	47	臨地実習
	22	臨地実習	48	臨地実習
	23	臨地実習	49	臨地実習
	24	臨地実習	50	臨地実習
	25	臨地実習	51	臨地実習
	26	臨地実習		
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	臨地実習Ⅱ			
実務家教員	○			
学部・学科	歯科衛生学科			
履修年次	3年次			
開講学期	前期・後期			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	495時間（11単位）			
授業コマ数	62コマ（1コマ8時間）			
授業概要	業務の実践に必要な知識・技術・能力を養う			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	実践的な知識と技術を習得する			
教科書	特に使用はしない			
特記	歯科医師である教員が、大学での臨床教授および運営される歯科医院での実務経験生かし、当該教員の監修の基、臨床経験で必要な歯科医療現場における応用技術と応用知識等の教授を行う			
授業計画	1	臨地実習	32	臨地実習
	2	臨地実習	33	臨地実習
	3	臨地実習	34	臨地実習
	4	臨地実習	35	臨地実習
	5	臨地実習	36	臨地実習
	6	臨地実習	37	臨地実習
	7	臨地実習	38	臨地実習
	8	臨地実習	39	臨地実習
	9	臨地実習	40	臨地実習
	10	臨地実習	41	臨地実習
	11	臨地実習	42	臨地実習
	12	臨地実習	43	臨地実習
	13	臨地実習	44	臨地実習
	14	臨地実習	45	臨地実習
	15	臨地実習	46	臨地実習
	16	臨地実習	47	臨地実習
	17	臨地実習	48	臨地実習
	18	臨地実習	49	臨地実習
	19	臨地実習	50	臨地実習
	20	臨地実習	51	臨地実習
	21	臨地実習	52	臨地実習
	22	臨地実習	53	臨地実習
	23	臨地実習	54	臨地実習
	24	臨地実習	55	臨地実習
	25	臨地実習	56	臨地実習
	26	臨地実習	57	臨地実習
	27	臨地実習	58	臨地実習
	28	臨地実習	59	臨地実習
	29	臨地実習	60	臨地実習
	30	臨地実習	61	臨地実習
	31	臨地実習	62	臨地実習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	介護技術の基礎
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義及び実習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	介護技術の基礎を身に付ける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	介護技術の全般を学び要介護者が主体性を維持できるよう基礎を身に付ける
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第2巻
特記	
授業計画	1 職業倫理 2 人間の尊厳 3 コミュニケーション技術 4 高齢者に多い病気 5 認知症の理解 6 整容の介護 7 移乗移動動作 車椅子 8 食事、口腔ケア 9 入浴・清潔保持の介護 10 排泄の介護 11 居住・環境整備概論 12 福祉用具。介護用ベッド 13 まとめ 14 実技試験 15 ふりかえりテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	介護技術の応用																														
実務家教員																															
学部・学科	歯科衛生学科																														
履修年次	3 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	選択必修																														
授業方法	講義及び実習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	役割を理解しA D Lの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護を行う																														
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ																														
達成目標	介護の役割を深く理解しA D Lの自立性の向上、個別性の尊重、自己決定の尊重を意識して質の高い介護が行えるようになる																														
教科書	中央法規出版 介護福祉士実務者研修テキスト第3巻																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>介護者の職業倫理</td></tr> <tr><td>2</td><td>ベッドメイキング</td></tr> <tr><td>3</td><td>移動・移乗動作</td></tr> <tr><td>4</td><td>移乗方法</td></tr> <tr><td>5</td><td>車椅子の移乗・移動・段差越え</td></tr> <tr><td>6</td><td>歩行介助・杖歩行・段差のぼり降り</td></tr> <tr><td>7</td><td>脱衣・着衣</td></tr> <tr><td>8</td><td>脱衣着衣とシャワー浴</td></tr> <tr><td>9</td><td>食事介助</td></tr> <tr><td>10</td><td>トイレ介助</td></tr> <tr><td>11</td><td>おむつ交換</td></tr> <tr><td>12</td><td>おむつ交換</td></tr> <tr><td>13</td><td>車いす移動実技試験</td></tr> <tr><td>14</td><td>車いす移動実技試験</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ（ふりかえりテストあり）</td></tr> </table>	1	介護者の職業倫理	2	ベッドメイキング	3	移動・移乗動作	4	移乗方法	5	車椅子の移乗・移動・段差越え	6	歩行介助・杖歩行・段差のぼり降り	7	脱衣・着衣	8	脱衣着衣とシャワー浴	9	食事介助	10	トイレ介助	11	おむつ交換	12	おむつ交換	13	車いす移動実技試験	14	車いす移動実技試験	15	まとめ（ふりかえりテストあり）
1	介護者の職業倫理																														
2	ベッドメイキング																														
3	移動・移乗動作																														
4	移乗方法																														
5	車椅子の移乗・移動・段差越え																														
6	歩行介助・杖歩行・段差のぼり降り																														
7	脱衣・着衣																														
8	脱衣着衣とシャワー浴																														
9	食事介助																														
10	トイレ介助																														
11	おむつ交換																														
12	おむつ交換																														
13	車いす移動実技試験																														
14	車いす移動実技試験																														
15	まとめ（ふりかえりテストあり）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サービス接遇Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（2単位）	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	サービス接遇の基礎知識	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	秘書検定3級合格を目指し問題演習に取り組む	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	秘書検定対策1
	2	秘書検定対策2
	3	秘書検定対策2
	4	秘書検定対策3
	5	秘書検定対策3
	6	秘書検定対策4
	7	秘書検定対策4
	8	秘書検定対策5
	9	秘書検定対策5
	10	秘書検定対策6
	11	秘書検定対策6
	12	秘書検定対策7
	13	秘書検定対策7
	14	まとめ
	15	検定模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）・秘書検定3級合格	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サービス接遇Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	歯科衛生学科
履修年次	3年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	30時間（2単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	サービス接遇の実践 秘書検定3級
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、口のきき方、態度、振舞いなど相手が快適であると感じる満足度を提供できる能力を身に付ける 正しい文章を書くための漢字の知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 漢字検定練習問題 - 漢字検定練習問題（漢字検定確認テストあり） - 漢字検定練習問題 - 漢字検定練習問題（漢字検定確認テストあり） - 漢字検定練習問題 - 漢字検定練習問題（漢字検定確認テストあり） - 漢字検定練習問題 - 漢字検定練習問題（漢字検定確認テストあり） - 漢字検定1級項目別答練 - 漢字検定1級項目別答練 - 漢字検定1級直前答練 - 漢字検定1級直前答練 - ビジネスマナーの基本 - ビジネスマナー実践 - まとめ（ふりかえりテスト）
成績評価方法 （試験実施方法）	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容					
授業科目	卒業研究					
実務家教員						
学部・学科	歯科衛生学科					
履修年次	3年次					
開講学期	前期・後期					
科目区分	選択					
授業方法	講義					
授業時間	240時間（8単位）					
授業コマ数	120コマ					
授業概要	歯科衛生国家試験対策					
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る					
達成目標	3年間の学習の振り返りを行い学習理解をより深めると共に歯科衛生国家試験対策を行う					
教科書	医歯業出版					
特記						
授業計画	1	国家試験対策授業1, 2	41	国家試験対策授業81, 82	81	国家試験対策授業161, 162
	2	国家試験対策授業3, 4	42	国家試験対策授業83, 84	82	国家試験対策授業163, 164
	3	国家試験対策授業5, 6	43	国家試験対策授業85, 86	83	国家試験対策授業165, 166
	4	国家試験対策授業7, 8	44	国家試験対策授業87, 88	84	国家試験対策授業167, 168
	5	国家試験対策授業9, 10	45	国家試験対策授業89, 90	85	国家試験対策授業169, 170
	6	国家試験対策授業11, 12	46	国家試験対策授業91, 92	86	国家試験対策授業171, 172
	7	国家試験対策授業13, 14	47	国家試験対策授業93, 94	87	国家試験対策授業173, 174
	8	国家試験対策授業15, 16	48	国家試験対策授業95, 96	88	国家試験対策授業175, 176
	9	国家試験対策授業17, 18	49	国家試験対策授業97, 98	89	国家試験対策授業177, 178
	10	国家試験対策授業19, 20	50	国家試験対策授業99, 100	90	国家試験対策授業179, 180
	11	国家試験対策授業21, 22	51	国家試験対策授業101, 102	91	国家試験対策授業181, 182
	12	国家試験対策授業23, 24	52	国家試験対策授業103, 104	92	国家試験対策授業183, 184
	13	国家試験対策授業25, 26	53	国家試験対策授業105, 106	93	国家試験対策授業185, 186
	14	国家試験対策授業27, 28	54	国家試験対策授業107, 108	94	国家試験対策授業187, 188
	15	国家試験対策授業29, 30	55	国家試験対策授業109, 110	95	国家試験対策授業189, 190
	16	国家試験対策授業31, 32	56	国家試験対策授業111, 112	96	国家試験対策授業191, 192
	17	国家試験対策授業33, 34	57	国家試験対策授業113, 114	97	国家試験対策授業193, 194
	18	国家試験対策授業35, 36	58	国家試験対策授業115, 116	98	国家試験対策授業195, 196
	19	国家試験対策授業37, 38	59	国家試験対策授業117, 118	99	国家試験対策授業197, 198
	20	国家試験対策授業39, 40	60	国家試験対策授業119, 120	100	国家試験対策授業199, 200
	21	国家試験対策授業41, 42	61	国家試験対策授業121, 122	101	国家試験対策授業201, 202
	22	国家試験対策授業43, 44	62	国家試験対策授業123, 124	102	国家試験対策授業203, 204
	23	国家試験対策授業45, 46	63	国家試験対策授業125, 126	103	国家試験対策授業205, 206
	24	国家試験対策授業47, 48	64	国家試験対策授業127, 128	104	国家試験対策授業207, 208
	25	国家試験対策授業49, 50	65	国家試験対策授業129, 130	105	国家試験対策授業209, 210
	26	国家試験対策授業51, 52	66	国家試験対策授業131, 132	106	国家試験対策授業211, 212
	27	国家試験対策授業53, 54	67	国家試験対策授業133, 134	107	国家試験対策授業213, 214
	28	国家試験対策授業55, 56	68	国家試験対策授業135, 136	108	国家試験対策授業215, 216
	29	国家試験対策授業57, 58	69	国家試験対策授業137, 138	109	国家試験対策授業217, 218
	30	国家試験対策授業59, 60	70	国家試験対策授業139, 140	110	国家試験対策授業219, 220
	31	国家試験対策授業61, 62	71	国家試験対策授業141, 142	111	国家試験対策授業221, 222
	32	国家試験対策授業63, 64	72	国家試験対策授業143, 144	112	国家試験対策授業223, 224
	33	国家試験対策授業65, 66	73	国家試験対策授業145, 146	113	国家試験対策授業225, 226
	34	国家試験対策授業67, 68	74	国家試験対策授業147, 148	114	国家試験対策授業227, 228
	35	国家試験対策授業69, 70	75	国家試験対策授業149, 150	115	国家試験対策授業229, 230
	36	国家試験対策授業71, 72	76	国家試験対策授業151, 152	116	国家試験対策授業231, 232
	37	国家試験対策授業73, 74	77	国家試験対策授業153, 154	117	国家試験対策授業233, 234
	38	国家試験対策授業75, 76	78	国家試験対策授業155, 156	118	国家試験対策授業235, 236
	39	国家試験対策授業77, 78	79	国家試験対策授業157, 158	119	国家試験対策授業237, 238
	40	国家試験対策授業79, 80	80	国家試験対策授業159, 160	120	国家試験対策授業239, 240
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）					
備考						

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス基礎	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	一般常識、ビジネスマナー 漢字検定 3 級	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般常識、ビジネスマナーを中心に基礎学力の習得を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字検定練習問題
	2	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	3	漢字検定練習問題
	4	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	5	漢字検定練習問題
	6	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	7	漢字検定練習問題
	8	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	9	漢字検定練習問題
	10	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	11	漢字検定練習問題
	12	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	13	漢字検定 3 級項目別答練
	14	漢字検定 3 級直前答練
	15	漢字検定 3 級直前答練
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス応用	
実務家教員		
学部・学科	歯科衛生学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	就職対策 漢字検定2級	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	一般知識科目を中心に社会人基礎能力の育成を行うと共に適性検査、面接など就職対策を行う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	漢字検定練習問題
	2	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	3	漢字検定練習問題
	4	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	5	漢字検定練習問題
	6	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	7	漢字検定練習問題
	8	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	9	漢字検定練習問題
	10	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	11	漢字検定練習問題
	12	漢字検定練習問題 漢字検定確認テスト
	13	漢字検定 2 級項目別答練
	14	漢字検定 2 級直前答練
	15	漢字検定 2 級直前答練
成績評価方法 (試験実施方法)	各回のミニテスト 単位認定試験（筆記試験）	
備考		